

RSTC ❖ 会社設立の動機

私が人材派遣会社を設立した理由

派遣会社は、なぜこんなに利益をあげているのだろうか？

それに対して派遣社員は、なぜこんなにも給料が安いのだろうか？

はたして、彼らは満足に生活がおくれているのだろうか？

わたしは大学を卒業してすぐに大手派遣会社に就職しました。

内勤社員、つまり営業マンとして勤務したのですが、そこで感じたことです。

そして、その答えはすぐにわかりました。

ある日、上司から

“派遣社員を安く雇って、高い派遣料金で売れ

“できるだけ利益率をあげるようにしろ

“契約時の利益率の高さが、お前たち営業マンの能力だ

といわれたからです。

この会社には、派遣社員の立場にたって考えようとするポリシーはありませんでした。会社の売上や収益をあげることが至高の命題だったのです。わたしが在籍していた数年間で、派遣社員の「生活」や「満足度」の向上など派遣社員向けのテーマで議論されたことは1度もありませんでした。



社内組織は、内勤社員が上で派遣社員は下、権限のほとんどが内勤社員、とくに所属する営業所長に集中しておりました。給料を決めることも、職場を決めることも、勤務地を決めることも、そして、派遣社員をクビにすることさえ、営業所長の手の内にあつたのです。

派遣社員は、常に内勤社員の顔色をうかがっていました。「解雇」といわれたらどうしようとか、とつぜん遠くに転職しろといわれたらどうしようとか、彼らはいつもびくびく不安になっていたのを覚えております。

とうぜん、このような会社の雰囲気は最悪です。本音と建前が入りまじり、派遣社員は陰で不満やぐちをこぼし、それをたまたま聞いた内勤社員は彼らをますます高圧的にあつかう、すべてが悪循環で回っておりました。

“もっといい派遣会社の経営方法が必ずあるはずだ！”

内勤社員も派遣社員も同じ会社の仲間である。お互いを尊重して、お互いの立場を理解できれば、もっといい関係が築けるはず。お互いが信頼で結ばれていれば、お客さまによりよいサービスが提供できるはずだ。そうすれば、いまよりも、もっともっと会社は成長できる。

“それを証明してみせたかった！”

この思いで 2007 年 9 月 28 日 わたしたちは株式会社 リツアン S T C を設立いたしました。

売上や利益は会社を継続するための手段であつて、会社にはもっと別の純然たる目的があるはずだ。それをリツアンで発見して、ぶれることなく前へ前へ進んでいきたいと思っております。

平成 25 年 8 月吉日
株式会社リツアン S T C
代表取締役 野中久彰